

おおつ市民環境塾 2015

講座1 基調講演

日 時：平成 27 年 7 月 12 日（日） 14:00～16:15

場 所：明日都浜大津 5階 ふれあいプラザ大会議室

参加者：57名、講師1名 合計58名

◇ 概 要

1、 環境塾開講の挨拶

おおつ市民環境塾 2015 実行チーム リーダー 藤本 一也

地球温暖化をはじめ、生物多様性の保全等環境問題の課題を楽しく学ぶおおつ市民環境塾 2015 は5つの講座がある。本日は基調講演にふさわしい琵琶湖研究の第一人者である、嘉田由紀子前知事をお招きして開催します。よろしくお願いします。

2、 基調講演

○ 講 師：嘉田 由紀子 氏 びわ湖成蹊スポーツ大学学長 前滋賀県知事

○ 演 題：【びわ湖の環境保全に挑戦した知事の仕事】

～琵琶湖学者としての横串政策～

○ 内 容

- (1) まず始めに琵琶湖研究への自分史から始められた。15歳の関西修学旅行で出会った近江・比叡山、びわ湖の強烈な思いが、滋賀県定住に繋がり滋賀県職員として琵琶湖辺の人と水のかかわりの研究。

「もったいない」を掲げ戦われた 2006 年の滋賀県知事選「手こぎ船」のこぎ手の価値観は「命と暮らしを大事に」であり、鉛筆一本で世の中が変わる共感により当選、一人ひとりの思いと願いを政策実現への力となった。2014 年 7 月勇退。



- (2) 住民、生活者にとっての望ましい水環境とは？

環境とは「主体」によって意味が変わってくる。「近代技術主義」「自然環境保全主義」にプラスして住民が納得できる望ましい水環境とは、虫の目と鳥の目を総合化した「生活環境主義」である。

- (3) 「古文書」や古写真活用の「資料提示型インタビュー」による「虫の目」調査

「近い水」の暮らし（高度経済成長期以前）昭和 30 年代の琵琶湖岸の暮らしの様子から洗い場は消え、水道に。生活の中で生きていた湖と川、子どもたちの遊び場としての水辺。水の汚染は、水と人々とのかかわりの相対である。

- (4) 地図情報と双方向ネットワークを活用した「鳥の目」調査

琵琶湖に注ぐ 120 本の川、環境情報の地図化、水質汚濁の見える化。

「鳥の目」としての地域環境データベース「滋賀県地域環境アトラス」

5 年間かけてつった、意思決定に活用できる「うごくアトラス」

住民参加で環境情報を作り出す「ふえるアトラス」

(5) 科学知と生活知の出会いとこでの、縦割りをこえた横串施策の実現

環境問題を考えるとき「文化的思考」「科学的思考」という複眼の思考が必要である。

戦後の琵琶湖の三つの受難①食糧不足による内湖の干拓、農地化 ②利水、治水機能強化のための琵琶湖のダム化による湖と周辺の分断 ③外来魚貝類の違法搬入による在来魚貝類の生息数の急激な減少。

昭和と平成の琵琶湖風景の変遷から環境問題の多面性が見えてくる。

「琵琶湖と暮らしのかかわり」を考え、自然を取り戻すために「モノ」「イノチ」「ココロ」を大事にした生活環境主義への転換を。

(6) リスク社会を生き抜くための「科学知」「生活知」の融合と「自助」「共助」「公助」の仕組みづくり 滋賀県知事としての挑戦

人々の暮らしの場に注目して今求められているのは、生活者視点からの防災・減災視点であり、ハードの仕組み以上にソフト、ハートの仕組みである。

「リスク社会」を生き抜くために人の力、自然の力、地と知の力が必要である。

(7) 横串施策が、社会的認知を受け始めた！

琵琶湖とその水辺景観が日本遺産に、生活の中で使ってきた水「はりえ」

魚のゆりかご水田など、湖国の農業 環境重視アピールし農業世界遺産に申請。

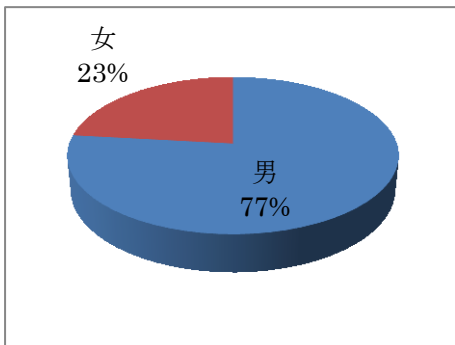
近い「水、食、エネルギー・人」を取り戻す必要がある。命をはぐくみ命を守る、琵琶湖と水の都を未来世代へ引き継ぐことを結論付けられた。



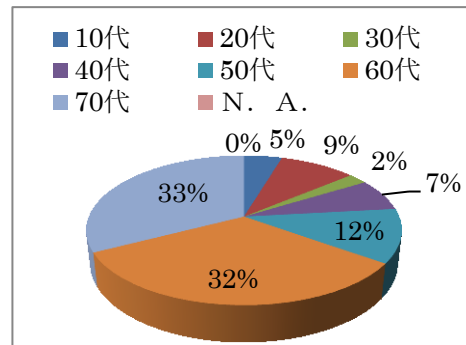
アンケート結果

(一般参加者 50 名中 43 名：回収率 86%)

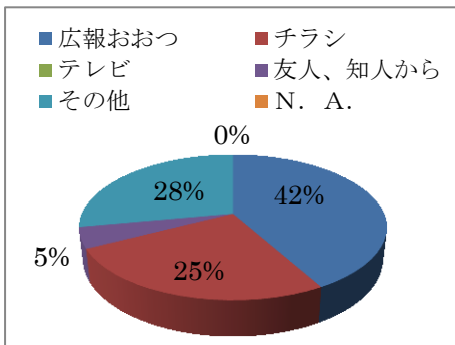
*男女比



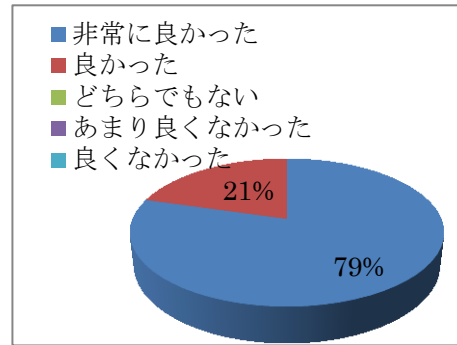
*年齢構成



*メディア



*評価



*ご意見

- ・研究者、知事としての努力 すばらしかったことを知りましたが、今までは全く分からなかった。さらに推進してもらいたかったなあ、後4年！
- ・琵琶湖の環境を語ることなくして環境について考える事は出来ない。琵琶湖学者として力説していた。「近代技術主義」に「生活環境主義」を加えた価値観の転換と「水害リスク情報」の開示についてよく理解できた。
- ・実際に地域行政を担って来られた立場からの講演でよく勉強できました。
- ・大変勉強になりました。日々真野浜の清掃を頑張っています。必要なことかどうか迷っています。自然に任せるほうが良いのかな？
- ・「鳥の目」としての地域の環境についての切り口が良かった。琵琶湖の環境全般についての説明は大変勉強になりました。
- ・すばらしい講演でした。再度知事に立候補して欲しいと希望します。現知事にはもっと勉強して琵琶湖を守って欲しい。
- ・生活環境主義の視点の重要性がよく理解できました。
- ・大変貴重なお話でした。地域環境を大切にしながら生活のあり方を考えることが本当に必要な時ですね。
- ・大津に来て5年です。琵琶湖の過去・現在がよく分かりました。しかし、未来がどうなるのか？

- ・嘉田さんが好きで Facebook でフォローやコメントもさせていただいております。今日の講演を非常に楽しみにしておりました。ハンドマイクで歩きながら会場と一体になって進めて行く講演が楽しかったです。琵琶湖の環境がこんなにも変わってしまったことが悲しいです。嘉田さんが研究された本を読んでみようと思います。貴重なお話をたくさん聞けました。
- ・滋賀の琵琶湖と山が好きすぎて、現在湖西に住んでいます。地域を愛する事がすべてつながっている気がします。志賀の山と水、すべて大のお気に入りです！！
- ・そのまま飲める水が多い→世界遺産に～実現できればすばらしい。もっと多くの人に聞いてほしい内容
- ・とても勉強になりました。リスクを住民に知らせる大切さは以前より思っていたましたが、実行して下さったことに感謝します。
- ・産業廃棄物の処理についてもお話していただき良かった。
- ・知ること、知らせる事、考える事の大切さを再確認できました。ありがとうございました。
- ・科学的なこと、人間的なこと、政治のからみ、非常に有意義な講演でした。
- ・学長の講話は大変長い間学問された情熱、結果が政治に生かされたことが大変感銘を受けた。
- ・質問者限定が残念だった。
- ・文化的な背景からの環境を見る視点が大切だということを強く感じました。
- ・政治家を経験しての学者としての立場からのお話、とても貴重でした。
- ・最近大阪より転居してきたばかりで地元の環境についてよく知りたいという思いから書籍等で知識を得ているところです。今日は環境学と政治の立場での難しいせめぎあい？と逆風を打破して得られた経験をお聞きする事ができ、大変有意義でした。ありがとうございました。
- ・分かりやすい話で感銘した。嘉田知事に過去8年間の回顧録をぜひ執筆していただきたい。